

研究区分	学部研究推進
------	--------

研 究 テーマ	化学物質のスペシャリスト育成に向けた多面的・融合的教育研究の推進				
研究組織	代 表 者	所属・職名	薬学部・教授	氏名	吉成 浩一
	研究分担者	所属・職名	薬学部・教授	氏名	濱島 義隆
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	滝田 良
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	浅井 知浩
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	竹内 英之
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	橋本 博
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	原 雄二
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	石川 智久
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	森本 達也
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	伊藤 邦彦
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	尾上 誠良
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	近藤 啓
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	内田 信也
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	賀川 義之
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	黒川 洵子
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	轟木 堅一郎
	発 表 者	所属・職名	薬学部・教授	氏名	吉成 浩一

講演題目
衛生薬学・レギュラトリーサイエンス領域における化学物質のスペシャリスト育成に向けた多面的・融合的教育研究の推進
研究の目的、成果及び今後の展望
医薬品、食品・食品成分、サプリメント、化粧品、食品添加物、農薬、工業化学物質など、人々はさまざまな化学物質に囲まれて生活しており、豊かで健康な生活にはこれらの化学物質は欠くことができない。一方で、水俣病などの公害やサリドマイドやスモン等の薬害、危険ドラッグや医薬品のオーバードーズなど、医薬品をはじめとする化学物質による健康被害が社会的問題となることも多い。このように、すべての化学物質は有効性・有用性と有害作用の二面性を有しており、これらを正しく理解することが化学物質の適正使用には必要である。本学薬学部では、有機化学、生化学、分析化学、機能形態生理学、薬理学、疾患学、薬物治療学、医薬品安全性学、製剤学、公衆衛生学などの教育を通して、医薬品を多面的に理解し、薬のスペシャリストである創薬研究者や薬剤師として活躍する人材育成に向けた教育研究活動を行っている。これらの背景から本課題では、化学物質の有効性・有用性とリスクを理解し、その開発、使用、規制、管理などの産官学の多様な分野で活躍できる「化学物質のスペシャリスト」の育成を目指す教育・研究の推進を目指した。 衛生薬学・レギュラトリーサイエンス領域においては、他の領域の教員と連携しながら、医薬品や化学物質による肝毒性や心毒性、神経毒性、発がん性、胎児・新生児への有害影響などについて、インビボおよびインビトロ試験やインシリコ解析による有害性発現機序の解明、毒性予測手法の開発などの研究を推進した。特に、医薬品や農薬等の開発における法令と開発の現状を踏まえた上での安全性評価手法の開発研究を推進した。また、静岡県内でも環境水汚染などが社会問題となっている有機フッ素化合物に関する教育研究も実施した。これらの成果は、化学物質に関する科学的知見や健康リスクに関する知識の欠如が原因で生じる種々の問題を解決できる人材の育成への貢献が期待される。